

【支援企業紹介】 ②



## 株式会社 ジュークス

### 「役目」はひとつ。 ものづくりで雇用を守る

第20回いわて希望ファンド ④  
第17回いわて農商工連携ファンド

第18回「機械要素技術展」出展報告 ⑥

新評議員・新理事紹介 ⑥

新職員・コーディネーター紹介 ⑥

新賛助会員紹介 ⑥

いわて特産品コンクールのご案内 ⑦

復興応援!第7回いわて特産品フェア・  
第3回いわての工芸品見本市を開催 ⑦

よろず支援拠点開設 ⑧

### ジュークスの これがポイント!

携帯電話のモックアップほかカーナビなど電子機器の国内受入検査も行う。ロット数や納期、品目などメーカーのどんなニーズにも対応できる体制は、個人の「感性と技術」を生かすフレキシブルな生産力があるからだ。



## 事業カレンダー

いわて産業振興センターに関連する事業紹介です

### 8月 [AUGUST]

26日~28日 ものづくりアカデミー・  
品質管理中級セミナー

### 9月 [SEPTEMBER]

10日・11日 ものづくりアカデミー・  
中堅管理者・後継者養成講座(1)  
25日・26日 いわて特産品コンクール

### 10月 [OCTOBER]

8日・9日 ものづくりアカデミー・  
中堅管理者・後継者養成講座(2)  
23日・24日 ものづくりアカデミー・  
ISO9001内部監査員養成講座  
29日・30日 メディカルクリエーションふくしま2014

# 技アリ!

いわての仕事録



- 1 工場内。1人で完了する業務や午前中のみで終了する業務もあるため、組立ラインは自在に対応できるようにレイアウトされている。立って作業するのも作業効率を考えてのことだ。
- 2 社員の平均年齢は35～36歳だが、前職から20年近くの職歴を持つ人多数。「出来ないという前にやる方法を考える」という城内社長の教えも浸透している。
- 4 検査装置ははじめ生産管理システムなども自社で設計。
- 5 自社開発の生産管理システムでラインの稼働状況を管理。納期の実現を徹底。
- 6 久慈市長内町に立つ本社工場。ほか待浜工場(在庫管理用)と仙台支店を置く。
- 7 光触媒機能を持つ造花も製造。見本品を分解、設備の検討と工程表、図面を作成し、4000個を生産した。
- 8 水を薬剤の反応で酸素を発生させる「オーツーフレスト」。防災や緊急時などへの用途も期待できる。

## 【支援企業紹介】久慈市 株式会社ジュークス

久慈市にある株式会社ジュークスは「メーカーの『困った』に対応する」をモットーにあらゆる製造分野に取り組んでいる。業界に吹く逆風のなか挑戦を続ける城内治社長に、思いと戦略を伺った。

【いわて産業振興センター活用事例】  
平成22年「いわて希望ファンド」を利用して携帯用酸素発生器を開発。「今後は県内工場の稼働状況や業務幹線などの情報提供のレベル向上にも期待したい」と城内社長

### 久慈のものづくり文化を守れ! リーマン・ショック直後に起業

戦後日本の発展をあらゆる角度から支え、世界市場においてはその品質や性能を高く評価されてきた日本の工業製品。生産工場の海外移転が加速する現在ですら、「Made in Japan」——日本のものづくりは、海外からの絶大な信頼を獲得している。

「この技術が流出すれば、資源の乏しい日本は立ち行かなくなる。大事なものは、日本のものづくりの技術と感性を若い世代に伝えること。製造業の灯を消したくないんです」。

そう語る城内治社長は、リーマン・ショック直後の平成21年、郷里の久慈

で起業した。経営する株式会社ジュークスは携帯電話のモックアップ(店頭見本)組立から携帯電話の完成品組立・検査など、電子機器製造分野を中心に事業を展開。また、2年前から太陽光発電システムの販売・施工も手がける。社歴こそ6年と短い社員には国内外の大手メーカーの製品製造に関わった経験者が多く、取引先からの信頼は厚い。「以前からどんな人とも同じ『目線』で向き合ってきました。だから人に恵まれ、ここまで来れたと思う」。

中堅の電子機器メーカーに24年在籍し、自社商品開発をきっかけに中国駐在も経験した城内社長。現地で目の当たりにした圧倒的な生産力への危機感

は、リーマン・ショックを契機に具現化する。「久慈の職安は仕事を求める人で溢れ、多くの知人に助けを請われました」。地域の雇用を守り、製造技術を残すためには自分が立ち上がるしかない。城内社長の決意に行政は支援に動き、メーカー時代の部下たちが結集した。長年培ってきた人脈の賜物だった。

### あえて得意分野を持たない戦略 自社商品開発で未来も見据える

創業時から手がける携帯電話のモックアップは、非常に難しい製品だ。情報流出を防ぐため、メーカーが図面を出すのは発売の数ヶ月前。ギリギリの納期で部品を調達し、かつ高品質と

低コストの要求にも応えねばならない。だがそこに、城内社長は「勝機」を見出した。「納期や品質、コストが厳しい小ロットや初期流動品などの海外生産は無理。こういう仕事こそ国内で残っていく」と。

難しい仕事への挑戦は同社の技術を高め、携帯電話やカーナビはじめ生産品目は拡大。驚くことに造花の生産を受注したこともある。「基準はうちの技術で出来るかどうかで、ひとつの分野には縛られません」と城内社長。ある経営コンサルタントが「製造工場の『よろずや』」と評したというも納得である。他社には真似のできない取り組みだが、それが出来るのは城内社長が日本製造業の可能性を信じてい

るからだ。「日本では作業者の『感性』も製品に入る。それがものづくりの原点であり、素晴らしいこと」。

平成22年には高地旅行者などを想定し携帯用酸素発生器を開発、翌年「いわて希望ファンド」に採択された。さらに今年から岩手大学工学部とエネルギー関係の材料開発に着手。「これまでの路線は堅持しつつコア技術を開発、自社商品を作っていく。目先も将来のことも見ていかなくては、生き残れない」。城内社長の目には、「その先」が見えているのだ。

日本のものづくりを支え、地元の雇用をも支える。地域の工場に課せられた『役目』を果たすため、同社の挑戦は続く。

### レスポンスとフットワークで「距離」を縮める

首都圏との距離のハンデを解消するのは、スピードと対応力。顧客からの問いにはすぐレスポンスを返し、緊急性が高いと、担当者の判断(即)で直接伺う。こうしたきめ細やかな対応で、月商20万円の仕事が最終的には1億8000万円まで伸びた取引先もあります。実績を積み重ねていくことが重要です。そして、実現するための努力を惜しまないことが重要だと思います。製造品目にとらわれず、お困りの際は気軽にご相談いただきたいですね。

### 技アリ!ポイント

#### 企業データ

会社名 株式会社ジュークス  
本社 久慈市長内町32-18-2  
電話 0194-61-1977  
代表者 城内治

創業 平成21年(2009)3月  
従業員 72名  
業種 電子部品、製品組立・検査等  
URL <http://jukes-k.co.jp/>

「役目」はひとつ。  
ものづくりで雇用を守る

代表取締役社長  
城内治



# 第20回 いわて希望ファンド

# 第17回 いわて農商工連携ファンド

**公募中です**  
7/28[月]まで  
希望ファンド小規模事業者枠は  
7/22(火)まで

## いわて希望ファンド 地域活性化支援事業

県内中小企業等の革新的・個性的な取り組みにより、地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新、中心市街地活性化に向けた取り組みなどについて、助成金交付による総合的な支援を行います。

### 起業・新事業活動支援事業

創業・起業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取り組みを支援

●新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、それに伴う市場調査・動向調査、人材養成等

対象者	●創業する者 ●中小企業者		●特定非営利活動法人(NPO法人) ●農事組合法人等	
	①一般枠 起業または新事業に取り組む事業者	②地域資源活用枠 地域資源を活用する事業	③経営革新枠 経営革新計画の承認を受けた事業	④小規模事業者枠 従業員5名以下の事業所で起業または新事業に取り組む事業者
助成限度額	300万円	300万円	500万円	150万円
助成率	1/2	2/3	3/4	3/4
助成期間	1年間(※継続3年以内(毎年審査))			

### 中心市街地活性化支援事業

中心市街地や商店街活性化に向けての革新的な以下の取り組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新役務の開発又は企業化、販売促進・販売力強化、業種構成再編・遊休資産活用～

対象者	●中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者 ●小売・サービス業を営む県内に住所のある中小企業者等 ●商工会、商工会議所、商店街振興組合、事業協同組合 ●知事が適当と認める特定非営利活動法人(NPO法人)	
	助成率	助成期間
助成率	9/10 (店舗賃借料については、「店舗賃借料/月×月数(助成対象期間×1/3)」の算式によって算出された額の9/10)	1年間(※継続3年以内(毎年審査))
助成限度額	250万円	

### 支援機関による 支援事業

中小企業者が実施する  
起業・経営革新等を支援する事業を行う支援  
機関の取り組み支援

## 第19回いわて希望ファンド地域活性化支援事業採択一覧

第19回いわて希望ファンド地域活性化支援事業について、平成26年5月21日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。(6月16日現在)

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
地域資源活用枠	株式会社山の屋	盛岡市	いわて地鶏「源流地鶏南部かしわ」の生産から加工・販売まで、6次産業への新たな挑戦。独自の商品開発により開発により新しい地鶏の提供方法・販売手段を確立させ全国へ販売拡大(継続2年目)
	岩手県産株式会社	矢巾町	「岩手PB商品の開発による岩手ブランド強化と売上拡大」(継続2年目)
	及川冷蔵株式会社	大船渡市	復興記念「新しい海鮮みやげ開発及び三陸おせちのバージョンアップ事業」(継続2年目)
	有限会社多田自然農場	遠野市	「海外市場から評価される本格的な乳製品の製造と販路開拓」
	農事組合法人宮守川上流生産組合	遠野市	「どぶろく」の品目拡大と販売力強化
小規模事業者枠	大西ファーム株式会社	二戸市	自社農産物と岩手県産品を使った、健康に良い加工食品の開発と構築
	古館製麺所	軽米町	「県産小麦を使用した「生そうめん」の商品改良と、販路の開拓」
	株式会社ループラス	紫波町	「女性のための防災用品セットの開発と販路開拓」
	株式会社リード	二戸市	「ほっと安心帽」に使用する衝撃吸収デバイスの新タイプ開発及び製品プロトタイプ作成
経営革新計画枠	有限会社清水川養鱒場	八幡平市	自社ブランド虹鱒「八幡平サーモン(R)」販路拡大のための一次加工品、水産加工品の開発・販路開拓及び活締め神経抜き等の研究・技術導入
	合同会社しづか亭	平泉町	「パトタッチ式農業体験及び加工体験サービスの提供による固定客の確保」(継続2年目)
中心市街地活性化支援事業	合同会社リグループ	八幡平市	グリーンエネルギー活用による馬糞堆肥の開発とオーガニック野菜の栽培と販売
	花巻商工会議所	花巻市	観光客をターゲットとした「ひえカレー」の提供によるまちの活性化事業(継続2年目)
	台湾泉湯の里振興協同組合	花巻市	花巻温泉郷・台湾泉の地域ブランド向上による温泉街活性化(継続2年目)
	一戸町商工会	一戸町	縄文のまち一戸にぎわい創出事業
支援機関による支援事業	おおふなと夢商店街協同組合	大船渡市	おおふなと夢商店街交流広場開設事業(継続2年目)
	(公財)岩手県観光協会(1)	盛岡市	「外国人観光客受入態勢整備による海外市場開拓支援・経営革新支援」
	(公財)岩手県観光協会(2)	盛岡市	「おもてなしの向上と経営革新を目指す人材育成」

## いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業

本県の地域経済の重要な担い手である農林水産業と中小企業者との連携(農商工連携)を強化し、相乗効果を発揮していくことで地域経済の活性化を図るため、中小企業者と農林漁業者の連携体が行う創業や新たな事業展開等への支援を行います。

### 起業・新事業活動支援事業

中小企業者と農林漁業者が連携をして行う下記の事業を支援

- ①新商品等開発支援事業(新商品・新技術・新役務の開発事業)
  - ②販路開拓等支援事業(販路開拓事業)
- ～新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、それに伴う市場調査・動向調査、人材養成等～

対象者	●県内の中小企業者と農林漁業者の連携体 ⇒農林漁業者とは、農業、林業、漁業を行うもの及びこれらの組織する団体(農協、森林組合、漁協、連合会も可) ●中小企業者以外で、県内のNPO等と農林漁業者の連携体
助成率	4/5
助成限度額	600万円 (農商工等連携事業計画の認定を受けている場合は助成限度額1,000万円)
助成期間	1年間 (※継続3年以内(毎年審査))

### 支援機関による支援事業

農商工連携による起業・新事業活動等を支援する事業を行う支援機関の取り組み支援

#### ●農商工連携の基本的要件

##### 1 有機的連携

中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用すること  
◆「有機的連携」とは、通常の事業範囲を超えて両者が連携することを指します。  
◆「経営資源を有効に活用」とは、両者の有する設備、技術、個人の有する知識及び技能その他ビジネスノウハウ、知的財産等が、本事業を実施するために具体的、かつ有効に用いられていることを指します。

##### 2 新商品の開発等

事業により、新商品若しくは新役務の開発、生産または需要の開拓が実現すること  
◆「新商品若しくは新役務(サービス)」とは、事業実施主体にとって、これまでに開発、生産したことのない新たな商品または役務であることが必要です。

#### ●農商工連携の事例～お菓子の開発～

##### 中小企業者(菓子メーカー)

もち米である古代米、低アミロース米の米粉を使用し試作品の製造、サイズ・パッケージ共に平泉に結びつけるデザインの製作。展示会における市場調査、販路拡大活動を行う

##### 新商品開発!



連携  
それぞれが  
工夫を凝らした  
取り組み!

##### 農林漁業者(農業者)

古代米を米粉に加工(品種の選定と製粉条件)。低アミロース米、うるち米といった食感の異なる原材料も検討。事業化された事により古代米に新たな活用・販路が生まれた

平泉の「世界文化遺産」登録を目前に商品開発を構想。「平泉」と「古代米」という共通した歴史イメージをもつ素材を組み合わせることで考案された事業化に至った。商品名・パッケージデザイン等も同様のイメージから発案された。

## 第16回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業採択一覧

第16回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業について、平成26年5月22日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
起業・新事業	株式会社門崎 (連携者:農事組合法人門崎ファーム)	一関市 (一関市)	門崎まるごとブランディング戦略(継続2年目)
	株式会社和かな (連携者:有限会社田村牧場)	盛岡市 (久慈市)	田村牧場で飼育された「たむら短角牛」を、「南部赤べこ」(商標登録済)としてブランド化するための加工・販売・流通方法等の開発

### ●手続きの流れ



お問い合わせお申し込みは **産業支援グループ** (いわて希望ファンド担当/福島・高橋 いわて農商工連携ファンド担当/伊藤利光)  
TEL019-631-3824 FAX019-631-3830 メール johoh@johoh-iwate.or.jp

# 第18回「機械要素技術展」出展報告

6月25日(水)から6月27日(金)までの3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)において第18回「機械要素技術展」(主催:リード エグジビション ジャパン株)が開催され、本県の16社が、共同出展ブースに出展しました。

本展示会は機械要素と機械材料・加工技術などの主要企業が一堂に会し、世界から2,101社のサプライヤーが集結する工業界の一大イベントです。

岩手県共同出展ブースは、メーカー等の設計技術者、研究開発者、生産技術者、購買・資材担当者等のお客様に、出展企業の有する優れた技術を見ていただくことにより、ビジネスを獲得し、成長と発展を目指すものです。

当センターは、本展示会に2006年から出展しており、今年で9回目となりました。

県内出展業者が自社製品・技術等の工夫を凝らした展示ブースでは、名刺交換、見積依頼、具体的商談が活発に行われ、「見積りの依頼がある」、「打合せのため後日訪問の約束を取り交わす」等の成果があり、手応えを感じていました。

今後も当センターでは、本県中小企業の取引マッチングに努力してまいります。



## 出展企業一覧(敬称略、五十音順)

(株)アイオー精密	(株)共立精工	(有)ジーエフトップ	(株)ナテック
岩手製鉄(株)	(株)小林精機	品川光学(株)	(有)プロフィット
(株)エイワ	(有)サワ	(有)青匠回路設計	盛岡セイコー工業(株)
大野ゴム工業(株)	三共化成(株)	(株)千田精密工業	和田工業(株)

開催期間の来場者:80,608名(3日間) ※H25:76,702名(3日間) URL:http://www.mtech-tokyo.jp/

# いわて特産品コンクール

本格復興推進年!「なりわい」の再生、地域とともに。

出品者募集中  
申込締切  
8/29(金)



平成25年度  
岩手県知事賞 食品部門  
三陸海の贈り物  
協同組合三陸パートナーズ



平成25年度  
岩手県知事賞 工芸品・生活用品部門  
山ぶどう染織ストール  
糸ばた工房

入賞者特典 新聞媒体による受賞PR広告

出品者特典 PRパンフレット作成・配布  
岩手県アンテナショップ(東京銀座・福岡)、物産展、商談会など

コンクール部門名称	審査会日時	表彰式日時
食品部門	9月18日(木) 9:20~	9月19日(金)午後
工芸品・生活用品部門	9月19日(金) 9:20~	

●申込み方法  
申込みは、所定の申込書により、郵便又はFAXにより申し込んでください。参加申込書は(公財)いわて産業振興センターホームページからダウンロードできます。  
http://www.joho-iwate.or.jp/bussan/

主催/いわての物産展等実行委員会・岩手県  
申し込み先 **いわての物産展等実行委員会事務局**(公益財団法人いわて産業振興センター)  
〒020-0857 盛岡市北飯岡2-4-26 TEL:019-631-3824 FAX:019-631-3830

## 新評議員・新理事紹介

当いわて産業振興センターの新評議員会会長及び新評議員、新理事の皆さまをご紹介します。



新評議員会会長  
谷村 久興  
(岩手県中小企業団体中央会会長)



新評議員  
堺 茂樹  
(岩手大学学長)



新理事  
菅原 悦子  
(岩手大学副学長)

## 新職員・コーディネーター紹介

センターに6月から新たに勤務する顧問、職員をご紹介します。



ものづくり振興グループ  
玉木 良洋  
6月よりものづくり振興グループにて特に自動車を担当することになりました。県内の自動車関連企業が突破していくため従来のやり方にこだわることなく全力で業務に当たってまいります。よろしくお願いたします。



コーディネーター  
星野 剛  
高収益で知られる大手メーカーで営業マネージャー、マーケティング部門責任者を歴任し、利益を上げる仕組みづくりを学びました。経験を生かして、地域企業の収益向上に役立てればと考えております。お気軽にご相談ください!

## 新賛助会員紹介

当センターの賛助会員に4月以降入会された企業の皆さまです。(敬称略・順不同)

- 小豆嶋漁業(株) (大槌町)
  - (株)岩千精工 (奥州市)
  - 永代印刷(株) (盛岡市)
  - (株)みちのく流通システム(盛岡市)
  - (株)佐原 (一関市)
  - 東網機械(株) (北上市)
  - (株)二戸ファッションセンター(二戸市)
- 皆さまのご入会をお待ちしております。

## 復興応援!第7回いわて特産品フェアを開催しました

平成26年5月23日(金)~28日(水)まで、盛岡市パルクアベニューカワトク 7F催事場&ダイヤモンドホール&1階特設会場において、「復興応援!第7回いわて特産品フェア」を開催いたしました。

会期中には、河村たかし名古屋市長と達増拓也岩手県知事をお迎えしてトークセッションを行い、岩手県の特産品のPRや名古屋市からの支援の内容や岩手の復興の状況を来場の皆様にお知らせしました。併せて市長、知事から陸前高田市の特産品である生椎茸のお振舞いもしていただきました。

今回は、絆協定を結んでいる愛知商業高等学校のプロデュース商品「希望のはちみつりんごアイスクリーム」の販売や、岩手県立高田高等学校生徒による自高製品の販売会が行われたほか、いわて農工商連携ファンドを活用し(株)丸光製麺といわいの里ふるさとづくり研究会が共同企画した商品「いわて一関桑はっ」とのお振舞も行われました。

出店事業者は、食品59社、工芸品20社、合計79社が参加し、そのうち15社が初出店でした。売上は18,599千円(速報)昨年比98.7%と、盛況のうちに終了しました。

## 第3回いわての工芸品見本市を開催しました

平成26年6月4日(水)~6日(金)の3日間、東京ビッグサイトで行われた「インテリアライフスタイル」に、「第3回いわての工芸品見本市」を出展しました。

「インテリアライフスタイル」とは、東京から世界へ向けて「ライフスタイルを提案する」インテリア・デザイン市場のための国際見本市で、本年度で24回を数えます。

今年は、南部鉄器を中心に木製品や染め物、陶器なども参加し、バラエティー豊かな岩手の工芸品をPRしました。各企業・組合共、活発な商談が行われ、充実のうちに会期を終了しました。新しいデザインや製品が集まる、活発で有意義な商談の場となりました。

【出展企業】11社・団体  
(株)バンザイファクトリー、螺鈿澤井工房、(株)幸呼来Japan、水沢鋳物工業協同組合、(株)及精鋳造所、(有)及春鋳造所、(有)夢工房、(有)クワン こしえる工房add、みちのく窯、おりつめ木工、特定非営利活動法人遠野まごころネットもりおかクリエイティブラボ

【入場者数】3日間合計27,827名

# よろず支援拠点開設

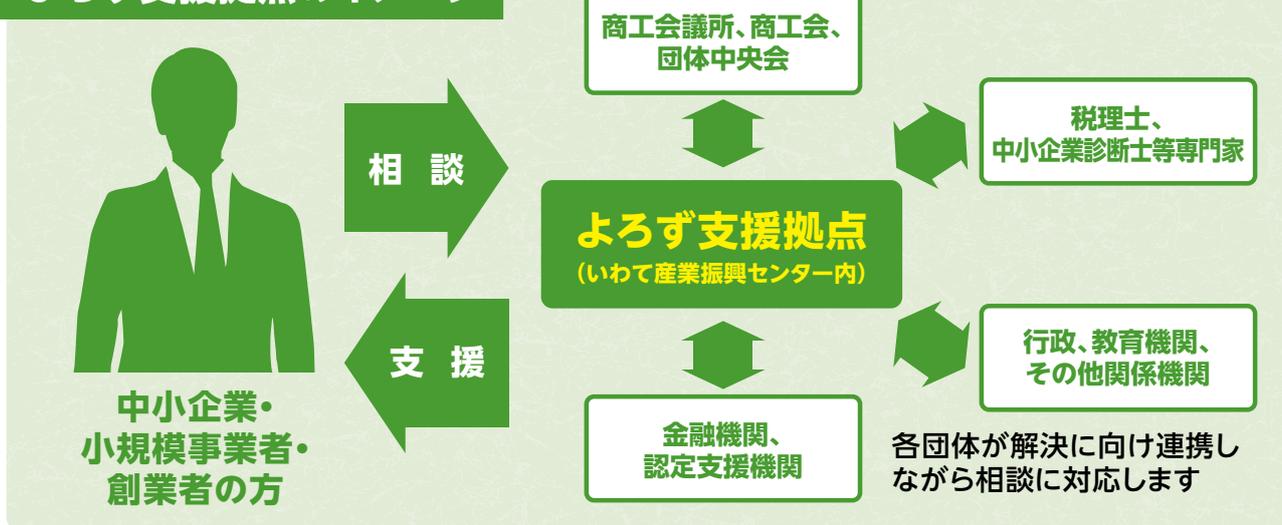
平成26年6月30日(月)、公益財団法人いわて産業振興センター内に「よろず支援拠点」を開設しました。  
「よろず支援拠点」は、以下の3つの機能を有します。

- ① 既存の支援機関では十分に解決できない経営相談に対する「総合的・先進的経営アドバイス」
- ② 事業者の課題に応じた適切な「チーム編成を通じた支援」
- ③ 支援機関等との接点がなく相談先に悩む事業者に対する「的確な支援機関等の紹介」

具体的には、中小企業・小規模事業者・創業予定者が抱えるあらゆる経営課題に応えることが「よろず支援拠点」のミッションとなります。  
当いわて産業振興センターとしましても、「よろず支援拠点」開設を機に、経営に関する各種専門家のコーディネーター、サブコーディネーターを5名採用し、当センターの従来保有する各種支援ツールと補完しながら、万全の体制を整え相談に対応する所存です。  
企業の皆様の経営に関する困りごと、お悩み事がありましたら、問題解決のために是非、当いわて産業振興センターの「よろず支援拠点」をご利用ください。

専用相談ダイヤル 019-631-3826

## ・よろず支援拠点のイメージ



## ■コーディネーター



伊藤 朗

中小企業診断士、マーケティング、IT活用、事業計画作成等



山口 敏

中小企業診断士、事業戦略立案、ブランディング戦略立案、マーケティング戦略立案、ソーシャルビジネス支援



中村 春樹

中小企業診断士、マーケティング、IT活用、事業計画作成等



藤井 登

マーケティング、6次産業化支援、食関係新商品開発支援



小山 康文

知財支援、ものづくり支援、大学等研究機関との連携支援、ものづくり企業のマッチング支援

(公財)いわて産業振興センター広報誌

産業情報いわて

2014年7月10日(毎月10日発行)

発行/公益財団法人いわて産業振興センター

〒020-0857 盛岡市北飯岡2丁目4-26(岩手県先端科学技術研究センター2F)

TEL.019(631)3823 FAX.019(631)3830

E-mail joho@joho-iwate.or.jp URL <http://www.joho-iwate.or.jp/>

編集印刷/川嶋印刷株式会社



この冊子は地球に優しいベジタブルオイルインクを使用しています。